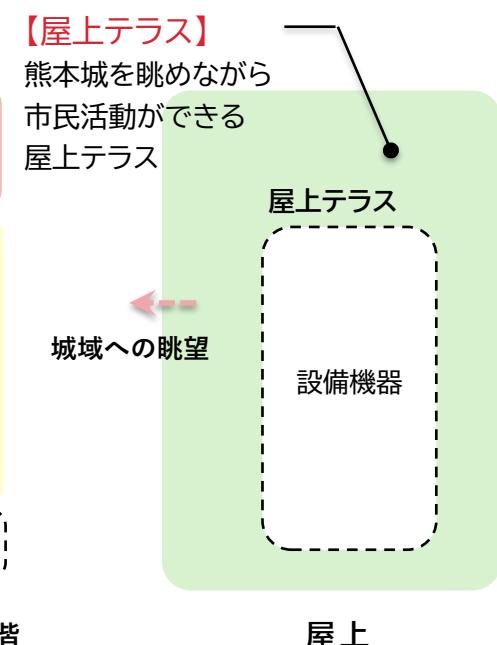
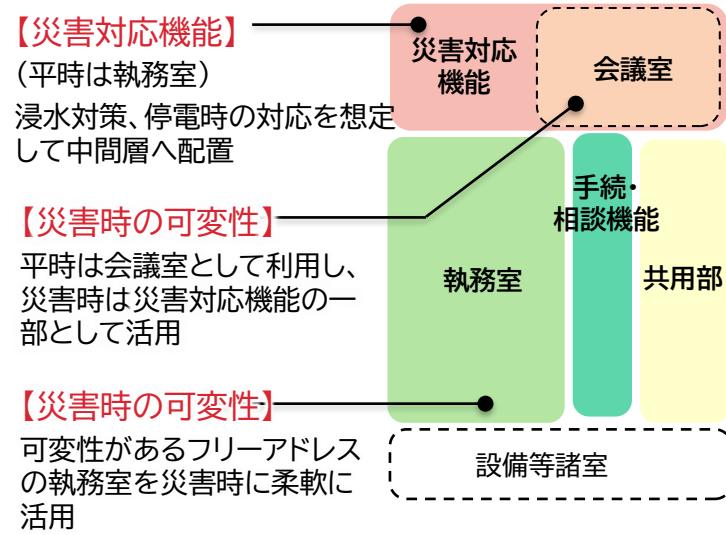
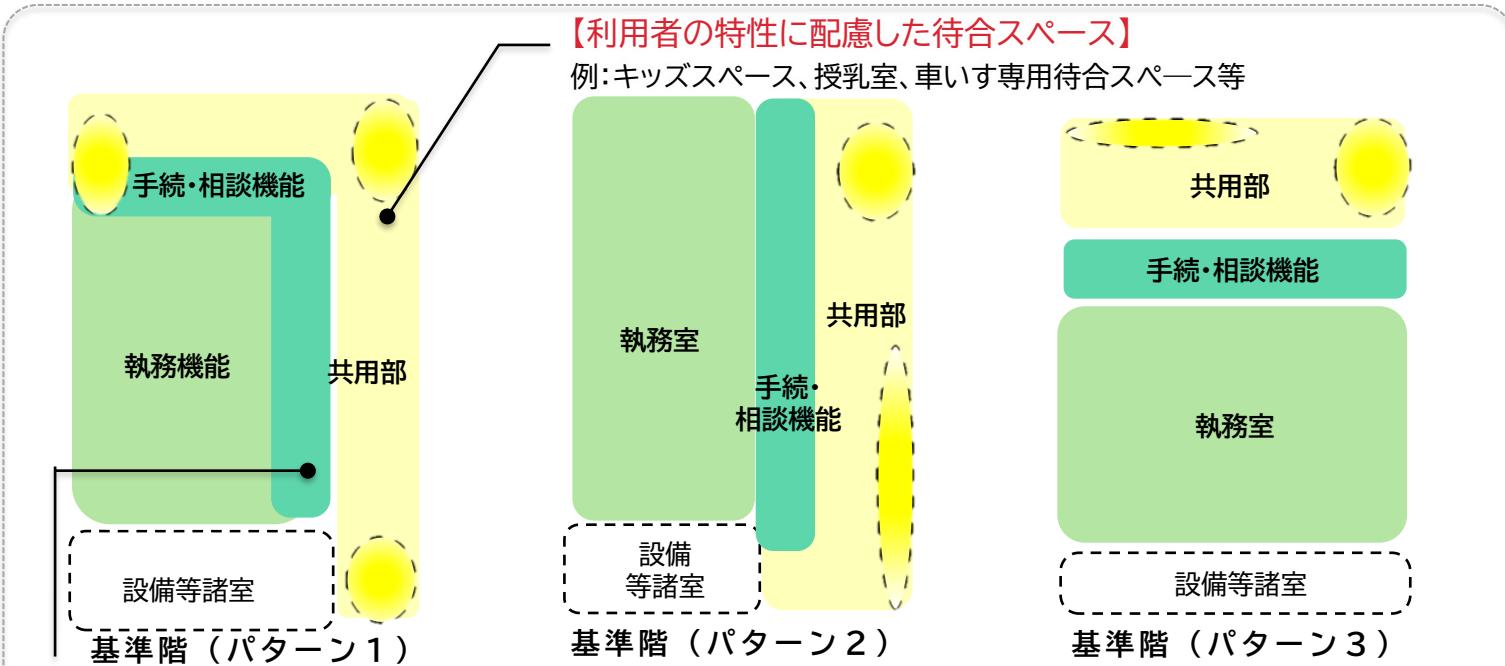
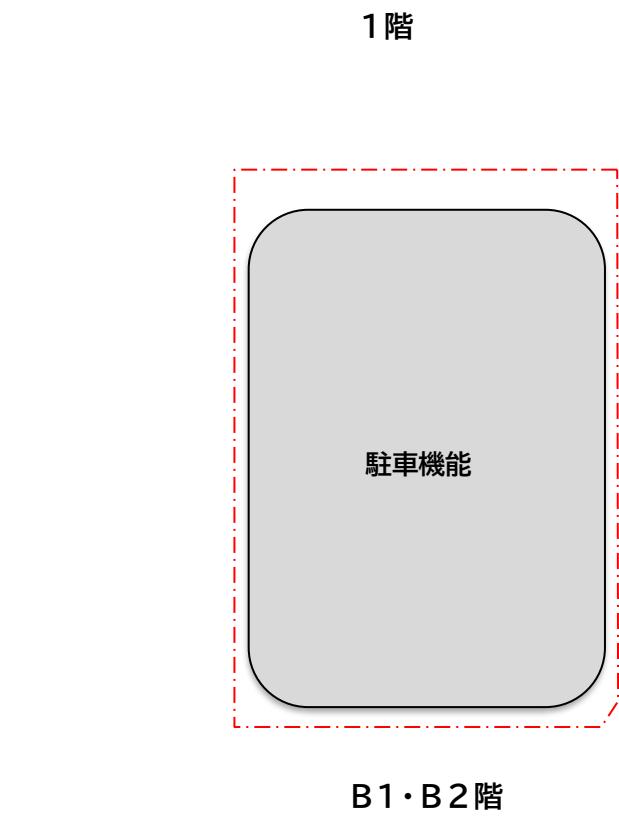


- ▲ 森のように様々な方向から入れる歩行者出入口
- ▲ 車両出入口
- 【ピロティ】**
道路沿いに設け、居心地の良い歩行空間作りに貢献
- 【1階の交流・共創機能】**
- ・ 歩行者が立ち寄り、観光情報等を見ながら休憩できるスペース
 - ・ 周辺施設や商店街等と連動したイベント開催やマルシェ開催も可能な多目的に利用できるスペース
 - ・ 読書、自習、飲食など自由な過ごし方ができるスペース
 - ・ 熊本の歴史や震災、区の取組等を知ることができる情報コーナー
 - ・ イベントや区民活動へ参加を呼び掛ける掲示等が可能なスペース
 - ・ 区民活動の成果を展示・発表できるスペース



防災拠点機能が入る中層階
※基準階パターン1又は2の場合の想定



- 【手続・相談機能】** ※配置が想定されるパターンの例を記載しています。
- ・ 手続きのワンストップ化(ライフイベントに関するもの)・ 手続き機能と相談機能はエリア分けを行う
 - ・ 利用者の特性に配慮したサインやレイアウト、機器を整備
 - ・ フロア案内人等を配置・ プライバシーに配慮した安心して相談できる個室や簡易な相談を受けられることができるセミオープンな相談スペース
- ：交流・共創機能の分散配置
- 区民活動や区民と職員が交流や共創できるスペースや待ち時間などに利用可能なこどもが遊べるスペース
様々な場所で交流や共創が生まれるようフロアによって設置位置を変えることを検討
(図示位置は設置場所のイメージで、今後運用等も踏まえて場所を設定します)

防災拠点機能

- ・あらゆる災害に対応する庁舎を目指します。
- ・災害対応業務が適切に実施できる業務継続性能を十分に確保した庁舎を目指します。
- ・受援等を想定した災害時の可変性を十分に確保した庁舎を目指します。
- ・エリア防災に寄与する庁舎を目指します。

手続・相談機能

- ・書かない、待たない、みんなに優しい、プライバシーに配慮した窓口を目指します。
- ・迷わない、わかりやすい窓口を目指します。
- ・将来のニーズに対応できる可変性のある窓口を目指します。
- ・利用者特性に配慮した、快適に過ごすことができる待合スペースを目指します。

交流・共創機能

- ・新庁舎の各所に交流・共創スペースを設置します。
- ・本庁舎は、「憩いと賑わいにつつまれ、新しい“何か”が生まれる空間」を目指します。
- ・中央区役所は、「人、場所、想いをつなぎ、まちに動きを生み出す空間」を目指します。
- ・本庁舎低層階には、文化的処方箋の拠点を設置します。
- ・災害時は、一時的な避難場所や臨時窓口設置等に活用することを想定します。
- ・夜間や閉庁日の開放や民間活力の導入、事業スキームについて検討します。

議会機能

- ・議員や傍聴者のバリアフリー対応やユニバーサルデザイン等に十分に配慮した計画とします。
- ・デジタル化に対応した、ICT環境の整った施設とします。
- ・市民も利用しやすい議会図書室や乳幼児等と傍聴できる特別室を設置するなど市民に開かれた施設とします。
- ・来庁者に分かりやすい動線計画・サイン計画とするとともに、十分なセキュリティ対策を講じます。
- ・議員控室は、議員数や会派の変動に柔軟に対応できる構成とします。

執務環境性能

- ・職員間コミュニケーションを活性化させ、個人・組織の能力を最大限引き出し、質の高い行政サービスが提供できる執務環境とします。
- ・行政ニーズの変化による組織改編等に柔軟に対応できる可変性のある執務室とします。平時にも災害時にも使えるフェーズフリーな会議室とします。
- ・文書及び物品の保管量を見直し、管理がしやすい書庫・倉庫を整備します。